

資料・統計

2023年中央手術部統計

Annual Report of Operations in 2023

新潟県立がんセンター新潟病院
中 央 手 術 部

1. 消化器外科

				robot支援下	
				開腹	4
				腹腔鏡下	0
				SSD・部分切除	
食道				非切除	
良性腫瘍	0		単開腹		0
非上皮性腫瘍	0		バイパス	開腹	1
食道癌	33			腹腔鏡下	3
右開胸（腹腔鏡併用 3）	4		その他		
ロボット支援下（腹腔鏡併用 23）	26		再発		
胸腔鏡下（腹腔鏡併用 0）	0		肝転移切除		0
腹腔鏡下（下縦隔郭清あり）	2		卵巣転移切除		0
開腹	1		リンパ節郭清		0
胸腔鏡併用咽喉食道全摘	0		局所切除		0
遊離空腸移植	0		腸切除		0
食道抜去	0		バイパス		4
頸部リンパ節郭清	0		人工肛門造設		2
腹部リンパ節郭清	0		その他		0
食道切除後 2 次的再建術	0		イレウス		
胃管によるバイパス術	0		癒着剥離		0
胃管癌	0		腸切除		2
胃管全切除（胸骨縦切開）	0		バイパス		0
胃管部分切除	0		人工肛門造設		0
特発性食道破裂	0		胃瘻・空腸瘻		0
胃				腹壁癒痕ヘルニア	
胃癌				修復術	開腹 0
Staging laparoscopy	11			腹腔鏡下	1
切除			非上皮性腫瘍		
全摘		開腹 3	GIST	開腹	1
		腹腔鏡下 13		腹腔鏡下	8
		robot支援下 4	悪性リンパ腫		0
残胃全摘		開腹 0	その他		
		腹腔鏡下 3	鼠経ヘルニア		4
		robot支援下 0	急性腹膜炎手術		3
噴門側切除		開腹 0	腸重積整復		2
		腹腔鏡下 13			
		robot支援下 8	結腸，直腸手術症例	全身麻酔手術	296
幽門側切除		開腹 3		その他の麻酔手術	41
		腹腔鏡下 38	原発		231
		robot支援下 39	結腸悪性		132
PPG		開腹 0	（腹腔鏡下手術		120）
		腹腔鏡下 0	（ロボット支援下手術		11）

右半結腸切除術	57	腸管修復術	1
S状結腸切除術	32	人工肛門閉鎖術	14
横行結腸下行結腸切除術	9	CVポート抜去術	7
回盲部切除術	8	鼠径ヘルニア根治術	4
下行結腸S状結腸切除術	7	急性汎発性腹膜炎手術（腸切あり）	1
人工肛門造設術	6	急性汎発性腹膜炎手術（腸切なし）	3
横行結腸切除術	5	腹腔鏡下胆嚢摘出術	3
結腸部分切除術	3	人工肛門造設術	2
左半結腸切除術	2	イレウス手術	4
下行結腸切除術	1	腹壁癒痕ヘルニア手術	1
バイパス手術	1	止血術	1
低位前方切除術	1		
結腸良性	0	肝胆膵	79
（腹腔鏡下手術	0)	肝腫瘍	
直腸悪性	99	肝細胞癌	2
（腹腔鏡下手術	94)	肝内胆管癌	1
（ロボット支援下手術	55)	転移性肝癌	17
低位前方切除術	42	その他肝腫瘍	1
前方切除術	16	胆道癌	
直腸切断術	14	十二指腸乳頭部癌	2
人工肛門造設術	11	胆嚢癌	2
ハルトマン手術	9	胆管癌	1
超低位前方切除術	5	膵疾患	
経肛門的腫瘍切除術	2	膵臓癌	19
直腸良性	0	I P M A ・ M C N	9
（腹腔鏡下手術	0)	内分泌腫瘍	3
再発・転移	18	その他悪性腫瘍	
（重複あり）		十二指腸癌	1
肝切除術	7	G I S T	0
腹膜播種/再発腫瘍切除術	4	小腸癌	0
傍大動脈リンパ節郭清術	4	N H L	0
卵巣摘出術	1	その他悪性	1
鼠径リンパ節郭清術	1	その他	
側方リンパ節郭清術（腹腔鏡）	1	胆石症・胆嚢ポリープ	16
粘液除去術	1	肝内結石症	0
肝転移	7	汎発性腹膜炎	2
（上記原発再発症例に含まれる）		ヘルニア	0
異時	5	腹腔内膿瘍	0
（上記再発症例に含まれる）		腸閉塞	0
同時	2	閉塞性黄疸	0
（上記原発症例に含まれる）		その他良性	0
その他の手術	99	術後合併症	2
（内緊急手術	13)	術式	
CVポート造設術	42	肝葉切除+膵頭十二指腸切除	0
（重複あり）		膵全摘	2
他科癌・他癌手術	17	膵中央切除	1
腸管切除術	10	膵頭十二指腸切除	18
人工肛門造設術	4	膵体尾部切除	6
腹膜播種/腫瘍切除術	1	腹腔鏡下膵体尾部切除	8
リンパ節生検	1	肝切除	12

肝門部胆管癌手術	0
胆嚢癌根治術	2
胆管癌手術	0
小腸悪性腫瘍手術	0
腹腔鏡下胆嚢摘除	11
ラジオ波焼灼	0
腹腔鏡下肝切除	8
その他悪性腫瘍手術	1
開腹胆摘	5
総胆管切石	0
胆道再建	0
P T C D / P T A D	0
その他	6

2023年の消化器外科における各臓器での入院手術件数は、食道:33件(2件減少)、胃:170件(増減なし)、結腸・直腸:337件(2件増加)、肝胆膵:79件(8件減少)であった。鏡視下手術/ロボット支援下手術(食道・胃・大腸)の件数(低侵襲手術の割合)は、食道切除:2/26件(84.8%)、胃切除:67/55件(95.3%)、結腸・直腸切除:148/66件(94.8%)、膵体尾部切除:8件(57.1%)、肝切除:8件(40%)であった。前年末に導入したロボット支援下手術が本格的に稼働した1年であったが、手術症例数はやや減少していた。低侵襲手術や高難易度手術を積極的に取り入れて当院への症例の集積を図り、本県の癌治療と外科教育の中核を担うことが望まれる。
(文責 消化器外科 會澤雅樹)

2. 乳腺外科

外来手術	1
入院手術	
良性+ブローベ	6
乳癌	352
Auchincloss	82
Mastectomy + SLNB	142
Simple mastectomy	26
Lumpectomy + Ax	7
Lumpectomy + SLNB	57
Lumpectomy	38
その他	
局所再発(リンパ節、創)	10
乳房内再発 乳房切除	19
乳房内再発 乳房部分切除	1
予防的切除(乳房切除)	1
断端陽性(乳房切除)	6
腋窩郭清	
(腋窩リンパ節遺残、リンパ節腫大(他癌))	2

後出血	
エキスパンダー挿入(上記手術に算定済み)	
1次組織拡張器挿入	15

2023年の原発性乳癌手術数は352件で、昨年より31件の増加であった。乳房温存療法の割合は約29%と昨年とほぼ不変であった。BRCA病的バリエーションをもつ乳癌発症患者1例にリスク低減乳房切除術(RRM: Risk reducing mastectomy)行われた。
(集計・文責 神林 智寿子)

3. 呼吸器外科

() 胸腔鏡手術

1. 気管(支)疾患	0
2. 肺疾患	237 (220)
2-1 良性肺疾患	8 (8)
炎症性腫瘍	4 (4)
真菌症	0 (0)
過誤腫	0 (0)
肺動静脈瘤	0 (0)
その他	4 (4)
2-2 悪性腫瘍	229 (212)
2-2-1 原発性肺癌	195 (179)
全摘除	1 (0)
肺葉切除	119 (110)
区域切除	46 (42)
部分切除	24 (22)
試験	5 (4)
その他	0 (0)
2-2-2 転移性肺腫瘍	32 (31)
大腸癌	14 (13)
泌尿器生殖器腫瘍	4 (4)
他消化器がん	6 (6)
肺癌	3 (3)
骨軟部腫瘍	1 (1)
乳癌	4 (4)
悪性黒色腫	0 (0)
2-2-3 その他の悪性肺疾患	2 (2)
3. 縦隔疾患	14 (8)
3-1 縦隔腫瘍	14 (8)
胸腺腫	11 (5)
原発不明縦隔リンパ節癌	0 (0)
縦隔リンパ節 他	3 (3)
3-2 縦隔鏡検査	0 (0)
4. 胸膜疾患	13 (12)
気胸	1 (1)
膿胸	2 (2)
術後出血・膿胸	0 (0)
術後肺ろう	6 (5)

孤立性線維腫	1 (1)
術後気管支断端瘻	0 (0)
胸膜腫瘍 (中皮腫)	3 (3)
肺膿瘍	0 (0)
その他	0 (0)
5. 胸壁疾患	4 (4)
6. そのほか	2 (0)
合計	270 (244)

肺癌手術の新しいエビデンスが確立され従来の標準手術の肺葉切除が減り、区域切除や部分切除といった縮小手術が増えました。(文責 青木 正)

4. 軟骨部腫瘍・整形外科

腫瘍性疾患	
良性軟部腫瘍	
切除術 (切除個数)	160
生検	0
良性軟部腫瘍	計 160
良性骨腫瘍	
切除または搔爬+骨移植	20
切除+人工関節	0
生検	8
良性骨腫瘍	計 28
悪性軟部腫瘍	
広範切除	33
広範切除+皮弁など再建	1
切断	0
生検	1
悪性軟部腫瘍	計 35
悪性骨腫瘍	
広範切除	3
広範切除+人工関節・自家骨移植	1
切断	0
生検	3
悪性骨腫瘍	計 7
転移性腫瘍・脊椎	
除圧・後方固定	0
転移性腫瘍	
髄内釘・ピンニング	12
切断	1
広範切除+人工骨頭置換	3
創外固定	0
切除・生検	3
転移性腫瘍	計 19

腫瘍性疾患	計 249
非腫瘍性疾患	
外傷	
創傷処置	1
骨接合術	8
創外固定	0
人工骨頭置換術 (股)	2
観血的関節受動術	0
観血的脱臼整復	1
外傷	計 12
感染	
デブリードマン	4
骨搔爬術 (骨髓炎手術)	0
感染	計 4
その他	
血腫除去	1
腱移行術	1
人工膝関節再置換術	0
切断 (感染、壊死)	0
偽関節手術	0
骨延長	0
抜釘・異物除去	5
その他	計 7
非腫瘍性疾患	計 23
総合計	272

手術件数は272件 (33件増加)、腫瘍性疾患は前年 (211件) よりも増加した。腫瘍性疾患のうち良性腫瘍は188件 (24件増加)、悪性腫瘍数は生検手術を除く38件 (11件増加) であった。皮弁再建や人工関節再建を伴う長時間の悪性腫瘍手術は少なかった。転移性腫瘍は19件 (3件増加) であり、2021年から増加傾向がみられる。(文責 山岸哲郎)

5. 脳神経外科

総手術件数	18
1) 腫瘍摘出術	9
悪性腫瘍	8
良性腫瘍	1
2) 脳血管障害	0
3) 頭部外傷	1
慢性硬膜下血腫	1
急性頭蓋内血腫	0

4) その他	8
オンマイヤー設置術	5
定位的腫瘍生検術	1
脳室ドレナージ術	2

手術件数は例年と大きな変わりはない。担癌患者で脳腫瘍摘出術の適応となる症例は多くない。脳転移に対する定位放射線照射は2023年度41件とこちらも例年通りであった。高齢で合併症を抱える患者も増えており、ナビゲーションを使用するなどして安全性の高い手術を行えるよう努めている。

(文責 五十川瑞穂)

6. 婦人科

良性腫瘍・上皮内腫瘍手術	156
CIN3/HSIL・CIN2/HSIL	74
子宮筋腫	26
子宮内膜増殖症	3
子宮内膜ポリープ	5
卵巣腫瘍	42
膈上皮内腫瘍	2
その他	4
悪性腫瘍	161
子宮頸部腫瘍	24
子宮体部腫瘍	76
卵巣・卵管・腹膜腫瘍	61
広汎子宮全摘術	19
子宮頸癌	17
子宮体癌	2
子宮体部悪性腫瘍手術	76
開腹手術	53
腹腔鏡下手術	23
卵巣腫瘍・卵管癌・腹膜癌手術	61
原発腫瘍	48
再発腫瘍	3
転移性腫瘍	1
卵巣境界悪性腫瘍	8
審査腹腔鏡	1
子宮頸部円錐切除術	54
腹腔鏡下手術	37
良性卵巣腫瘍	9
悪性腫瘍に対する審査腹腔鏡	1
腹腔鏡下子宮全摘術	27

・子宮筋腫・子宮内膜増殖症	3
・子宮体癌	23
・子宮頸部腫瘍	1
経頸管摘除術 (TCR)	4
子宮内膜ポリープ	4
子宮筋腫	0

手術総件数 317

2023年の手術件数は317件であり、昨年(257件)より約23%増となった。COVID-19による手術制限が解除されたためと思われる。子宮体癌に対する腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術の施設認定と取得した2022年は8件であったが、2023年は23件に増加し診療報酬の高い手術の割合が増加している。また遺伝性乳がん卵巣がん症候群に対する予防的卵管・卵巣切除術が2021年より保険適応となり、当院でも開始している。全体に占める悪性腫瘍手術の割合は2019年：33%から2021年：45%、2022年56%と年々増加をしていたが、2023年：51%となっている。ただ、悪性腫瘍手術の件数は2022年142件から2023年は161件と増えており、良性手術を含め手術件数が増えたためである。

(文責 西川伸道)

7. 泌尿器科

後腹膜腫瘍、副腎の手術 (小計4)	
後腹膜腫瘍摘出術	3
腹腔鏡下副腎摘出術	1
腎腫瘍および腎の手術 (小計84)	
根治的腎摘出術	25
腹腔鏡下腎摘出術	1
腎部分切除術	26
経皮的腎腫瘍生検	3
経皮的腎瘻造設術	24
腎その他	5
腎盂・尿管腫瘍および腎盂・尿管の手術 (小計88)	
腎尿管全摘出術	32
尿管カテーテル法 (留置を含む)	53
腎盂・尿管その他	3
膀胱腫瘍および膀胱の手術 (小計312)	
膀胱全摘出術 + 回腸導管造設術	13
膀胱全摘出術 + 尿管皮膚瘻造設術	2
経尿道的膀胱腫瘍切除術	291
膀胱内血腫除去・止血術	4
膀胱その他	2
尿道腫瘍および尿道の手術 (小計6)	
内尿道切開術	5
尿道腫瘍切除	1

前立腺腫瘍および前立腺の手術（小計283）

前立腺生検	276
前立腺全摘出術	1
経尿道的前立腺切除	4
前立腺その他	2
精巣腫瘍および精巣の手術（小計9）	
高位精巣摘出術	9
その他（小計1）	

総計 787手技（764件）

2023年の手術件数は764件（787手技）で、前年より減少していた。内訳では、腎腫瘍の手術がやや増加したが、尿路上皮癌に対する経尿道手術が、大きく減少した。

昨年同様、他院にロボット支援手術を依頼することが多く、前立腺癌に対する前立腺全摘出術は1件で、当科においてもロボット支援手術の導入が望まれる。（文責 谷川俊貴）

8. 皮膚科

【悪性腫瘍】

悪性黒色腫	42
基底細胞癌	110
有棘細胞癌	78
ボーエン病	42
日光角化症	22
転移性皮膚癌	10
汗孔癌	10
メルケル細胞がん	4
乳房外パジェット病	2
脂腺癌	2
悪性リンパ腫	2
血管肉腫	2
隆起性皮膚線維肉腫	2
汗腺癌	2
粘液癌	1
乳管癌	1
悪性末梢神経鞘腫瘍	0
小計	332

【良性腫瘍・その他】

母斑細胞母斑	63
上記以外の母斑	60
表皮嚢腫（粉瘤）	110
脂漏性角化症	46
脂肪腫	41
血管腫	25
石灰化上皮腫	21

皮膚線維腫	15
軟性線維腫	15
リンパ節生検	15
汗孔腫	13
ケラトアkantoma	11
血管平滑筋腫	5
疣贅	5
良性神経系腫瘍	5
血管拡張性肉芽腫	4
黄色肉芽腫	4
皮様嚢腫	3
粘液嚢腫	3
皮下異物	3
外毛鞘嚢腫	2
癬痕 ケロイド	2
膿皮症	2
脂腺腫	1
偽リンパ腫	1
グロムス腫瘍	1
毛巣洞	1
女性化乳房	1
その他	13
小計	491

合計 823

前年と比べて悪性腫瘍の手術が40件程増えたため、全体としては55件の増加であった。限られた時間で多くの手術をこなすことで業務負荷も高まるが、手術室スタッフの協力のもとに安全かつ円滑な運用に努めている。（文責 竹之内辰也）

9. 頭頸部外科

舌・口腔

舌・口腔良性腫瘍摘出術	1
舌・口腔悪性腫瘍摘出術	18

小計 19

咽頭

咽頭良性腫瘍摘出術	1
咽頭悪性腫瘍摘出術（外切開）	3
下咽頭・喉頭全摘術	5
斜視鏡下咽頭悪性腫瘍手術	19
嚥下改善手術（原発巣との併術含む）	1

小計 29

喉頭・気管

気管切開術	24
人工シヤント発声手術（プロボックス®留置）	6
喉頭全摘術	8
喉頭亜全摘術（CHEP）	0
喉頭垂直部分切除術	1
斜視鏡下喉頭悪性腫瘍手術	3

小計 42

頸部

頸部郭清術	88
（原発巣との併術含む、片側を 1 とカウント）	

小計 88

甲状腺

甲状腺良性腫瘍摘出術	19
バセドウ病手術	0
甲状腺悪性腫瘍摘出術	56
内視鏡下甲状腺良性腫瘍手術	6
内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術	6
副甲状腺摘出術	3

小計 90

耳下腺

耳下腺良性腫瘍摘出術	12
耳下腺悪性腫瘍摘出術	4

小計 16

顎下腺

顎下腺良性腫瘍摘出術	2
顎下腺悪性腫瘍摘出術	1

小計 3

鼻・副鼻腔

鼻・副鼻腔悪性腫瘍摘出術	1
--------------	---

小計 1

再建手術

腹直筋（遊離）	1
前外側大腿皮弁（遊離）	3
前腕皮弁（遊離）	0
空腸（遊離）	3
大胸筋皮弁（有茎）	6

前胸壁皮弁（有茎）	0
局所皮弁	1

小計 14

末梢挿入型中心静脈カテーテル（PICC）	60
----------------------	----

動注ポート留置	1
---------	---

CVポート留置	7
---------	---

その他（リンパ節生検、気管孔閉鎖など）	28
---------------------	----

合計 338件（PICCは除く）

2023年度の手術件数は338件で、前年比38件の増加だった。再建（遊離あるいは有茎）を要する拡大手術は14件（前年比 1 件の減少）だった。低侵襲の斜視鏡下経口的手術は22件であった。内視鏡下甲状腺腫瘍手術は12件（前年比 6 件の増加）施行した。上記以外の術式には大きな変化はなかった。

（文責 山崎恵介）

10. 形成外科

外傷	2
顔面軟部組織損傷	2

先天異常	1
頭蓋・顎・顔面・頸部	1

腫瘍	56
良性腫瘍	4
腫瘍切除後の組織欠損	52

瘢痕、瘢痕拘縮、ケロイド	4
--------------	---

その他	6
-----	---

計 69

他科との手術は、手術の約40%であり、乳腺外科、頭頸部外科、整形外科、消化器外科、泌尿器科、皮膚科と手術させていただいています。乳房再建関連手術は42症例でした。引き続き他科との手術を含め、再建手術に積極的に取り組み、患者さんにはご納得いただけるよう対応したいと考えています。

（文責 坂村律生）

11. 眼科

水晶体再建術：眼内レンズを挿入する場合	127
緑内障手術	10
腫瘍手術	2
硝子体注射/注入	39
その他	3
合計	181

眼科の病棟が感染対策病棟へ転換となり、手術件数の大幅な減少、手術予定の修正となっている。

相変わらず1名による手術体制であるが、手術の種類が多岐であり、難易度の高い症例も多く、他院から紹介される手術対象患者の比率も大きい状態が続いている。
(文責 原 浩昭)